



## その他の取組

| 具体的な取組内容   | 新規<br>継続<br>区分 | 特に効果があった<br>と判断した取組 | 取組の効果<br>(どのようなことをして、どう<br>なったか) |     |
|--|----------------|---------------------|----------------------------------|-----|
|  |                |                     | 定量的                              | 定性的 |
| ・見積書の取得について、競争性を高めるため、3者以上から取得する取組を実施  | 継続             | —                   |                                  |     |
| ・情報システムの仕様書について、目的・用途が仕様の内容に見合ったものになっているか等の観点から、外部有識者(CIO補佐官等)による審査を実施<br><br>・情報システムの運用状況を踏まえたコスト削減など、必要に応じて改善を実施し、次回調達にも反映(外部有識者(CIO補佐官等)も必要に応じて審査)<br><br>・システム監査計画(内部監査)に基づきシステムが有効に機能しているか、システム投資が妥当・有効であるかについて検証するとともに、指摘事項の改善をフォローアップ | 継続             | —                   |                                  |     |
| ・庁舎エントランスに調達情報／オープンカウンターを設置し、見積依頼書を公開配布  | 継続             | —                   |                                  |     |
| ・今年度においても、前年度と同様に共同調達を実施<br><br>・汎用的な物品・役務の発注について、発注単位の集約を検討する等、更なる共同調達の実施に向けた方策を検討  | 継続             | —                   |                                  |     |
| ・コーポレートカード方式での海外出張経費の精算やETCカードでの高速料金の支払いに際して、クレジットカード決済を実施   | 継続             | —                   |                                  |     |
| ・入札情報等の調達情報をソーシャルメディア等にて配信   | 継続             | —                   |                                  |     |
| ・情報システム調達に関する当庁の取組と関連知識を習得させるために、情報システム担当者等研修を実施   | 継続             | —                   |                                  |     |

## 外部有識者からの意見聴取の実施状況

(対象期間:4月1日～3月31日)

外部有識者の氏名・役職【 赤松 幸夫・弁護士 】 意見聴取日【 令和3年6月17日 】

| 意見聴取事項   | 意見等   | 意見等への対応                 |
|--|---|-------------------------|
| 調達改善計画に関する取組全般について<br>調達改善計画に関する取組全般について、ご意見をお聞かせ願います。 | 上半期に引き続いて、情報システム関連を中心とした新規事業者の開拓、一社応札の改善等に相応の努力が重ねられているものと評価する。今後とも一層の努力・工夫を重ねられたい。 | ご意見を踏まえ、引き続き調達改善を進めていく。 |

外部有識者の氏名・役職【 石島 隆・法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授 】 意見聴取日【 令和3年6月23日 】

| 意見聴取事項   | 意見等   | 意見等への対応   |
|--|---|---|
| 調達改善計画に関する取組全般について<br>調達改善計画に関する取組全般について、ご意見をお聞かせ願います。 | 新規の事業者の参入を促すためには、情報システムの調達仕様の改善が必要であるが、参入障壁の一つと考えられる情報システムにおけるデータ処理の理解困難性を改善するため、一部の情報システムについて、データモデルの整備に取組まれている。また、システム開発の効率性向上のために、一部の情報システムにおいて、アジャイル型開発や高速開発手法の導入を開始されており、これらの先進的な取組みが評価できる。<br>今後、これらの取組みを他のシステムにも広げ、競争性の高い調達の実現にお取組みいただきたい。 | ご意見を踏まえ、他のシステムにも取組みを広げ、競争性の高い調達の実現に向けて引き続き調達改善を進めていく。 |

外部有識者の氏名・役職【 大村 廣・公認会計士 】 意見聴取日【 令和3年6月17日 】

| 意見聴取事項   | 意見等  | 意見等への対応                                 |
|--|--|---|
| 調達改善計画に関する取組全般について<br>調達改善計画に関する取組全般について、ご意見をお聞かせ願います。 | 一者応札・応募の改善に向けた取り組みは評価できる。これらの取り組みは短時間に成果の現れないものも多数あることは理解している。更に一者応札・応募となった原因を多方面から分析して、知見を集約して、改善に向けた取り組みを継続していただきたい。 | ご意見を踏まえ、更なる知見の集約に取り組みつつ、引き続き調達改善を進めていく。 |